

ネットワークアンケート 54

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病患者さんの栄養指導に糖質制限を用いていますか？

ひところは推進派と慎重派の論争が喧しかった糖質制限も、ある程度の情報が集積・整理され、共通認識のもと落ち着いてディスカッションできるようになってきました。そこで本欄でも「糖尿病患者さんの糖質制限」をテーマに取り上げてみました。

[回答数：医療スタッフ106(医師18、薬剤師12、看護師34、栄養士34、その他8。医師以外のスタッフ88には、糖尿病療養指導士35、糖尿病認定看護師6を含む)、患者さん394(1型140、2型228、その他26。経口薬療法48%、インスリン療法50%、ポンプ療法11%、GLP-1受容体作動薬療法3%)。重複あり]

糖質制限を「ほぼ全例で考慮」「症例を選んで考慮」「患者さんから申し出があれば考慮」と、なんらかのかたちで導入しているという答が47%、一方「ほとんど行っていない」が42%、両者が拮抗するかたちになりました。

Q. 栄養指導に糖質制限を用いる際の目的

はどんなことですか？ n=51/複数回答可

前の質問で糖質制限を用いていると回答した47%(n=51)に、糖質制限の目的を聞くと、「HbA1cの改善(76%)」「食後高血糖の改善(73%)」「体重管理(63%)」「中性脂肪値の改善(33%)」「食事療法の煩わしさ改善(20%)」などが多く選択されました。

Q. 糖質の比率は、どの程度に設定することが多いですか？ n=51

糖質制限を用いる際の、摂取エネルギー量全体に占める糖質の比率については、「患者さんによりまちまちで一概に言えない(35%)」が最も多く、続いて「40%前後が多い(24%)」「摂取比率は特に設定しないことが多い(22%)」「30%前後が多い(10%)」「わからない・その他(10%)」で、20%前後以下に設定するとの回答はゼロ。右ページで紹介している患者さんからの回答に比べると、「緩やかな糖質制限」の指導が多いようです。

Q. 栄養指導に糖質制限を用いるにあたり、何らかの除外基準を設けていますか？ n=51/複数回答可

「腎症がある患者さん」は除外するが41%に続き、「高齢の患者さん(37%)」「非成人の

患者さん(37%)」「妊婦・妊娠予定のある患者さん(25%)」などが除外基準として多く挙げられた一方で、「特に除外基準は設けていない」も24%と、4分の1を占めました。

Q. 患者さんに糖質制限を指導した後、特に注意していることは？ n=51/複数回答可

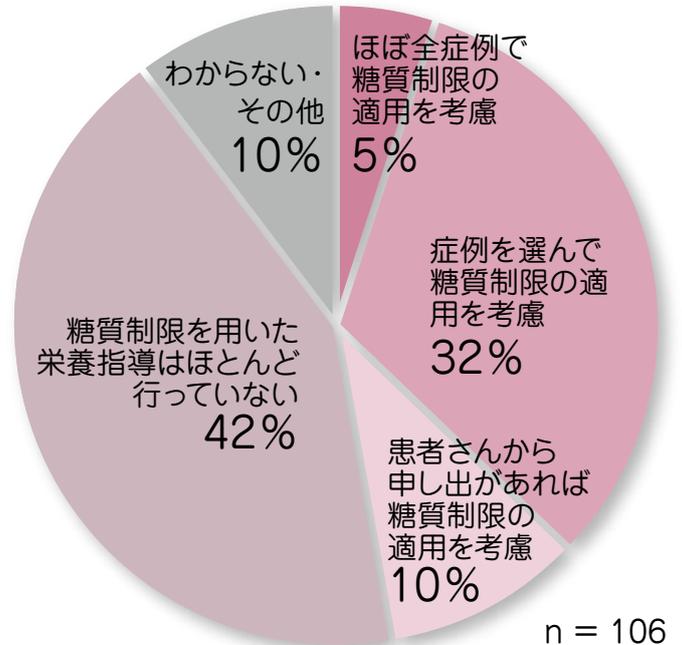
「摂取エネルギー量全体が不足していないか注意(59%)」「糖質摂取量を減らし過ぎていないか注意(57%)」「低血糖を起していないか注意(57%)」「腎機能をこまめに確認(37%)」などが多く挙げられました。

Q. 糖質制限の効果と有害事象について、どのような印象をお持ちですか？ n=51

「ほぼ全ての患者さんに効果がみられ、有害事象も少ない(10%)」「適応を選べば効果のみられる患者さんが多く、有害事象も少ない(39%)」「適応を選べば効果のみられる患者さんが多いが、有害事象がそれなりにある(27%)」「有害事象は少ないが、効果のみられる患者さんも少ない(6%)」「有害事象がそれなりにあり、効果のみられる患者さんが少ない(2%)」「わからない(14%)」となりました。

Q. 患者さんが医療スタッフに伝えずご自身の判断で糖質制限を行い、何らかの有害事象を来したことはありますか？ n=106

「ある」は23%、「ない」は36%、「わから



ない」が42%でした。「ある」の具体例としては、「低血糖を来した」が多数挙げられ、その他、極度の体重減少、ケトアシドーシス、腎機能悪化、脂質異常悪化などの記述がみられました。

Q. 栄養指導に糖質制限を用いるか否かについて、貴院全体あるいは診療科内で共通の方針を立てていらっしゃいますか？ n=106

「院内または診療科内で共通認識を持ち、一定の方針を立てている(23%)」「主に主治医が一人で判断している(21%)」「主に栄養指導を直接担当するスタッフが判断している(27%)」「わからない・その他(30%)」で、全選択肢がだいたい均等に選択されました。

Q. 今後、糖尿病栄養指導に糖質制限を用いる機会は増えると思いますか？ n=106

「それほど変わらないと思う」が51%で半数を占め、「増えると思う」が29%と約3割、「減ると思う」は3%とごくわずかでした(残りは「わからない(15%)」等)。